

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・アキュライズⅨ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.474	△RG 0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アキュライズⅨ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：アキュライズⅧ

フレアーの幅 インチ

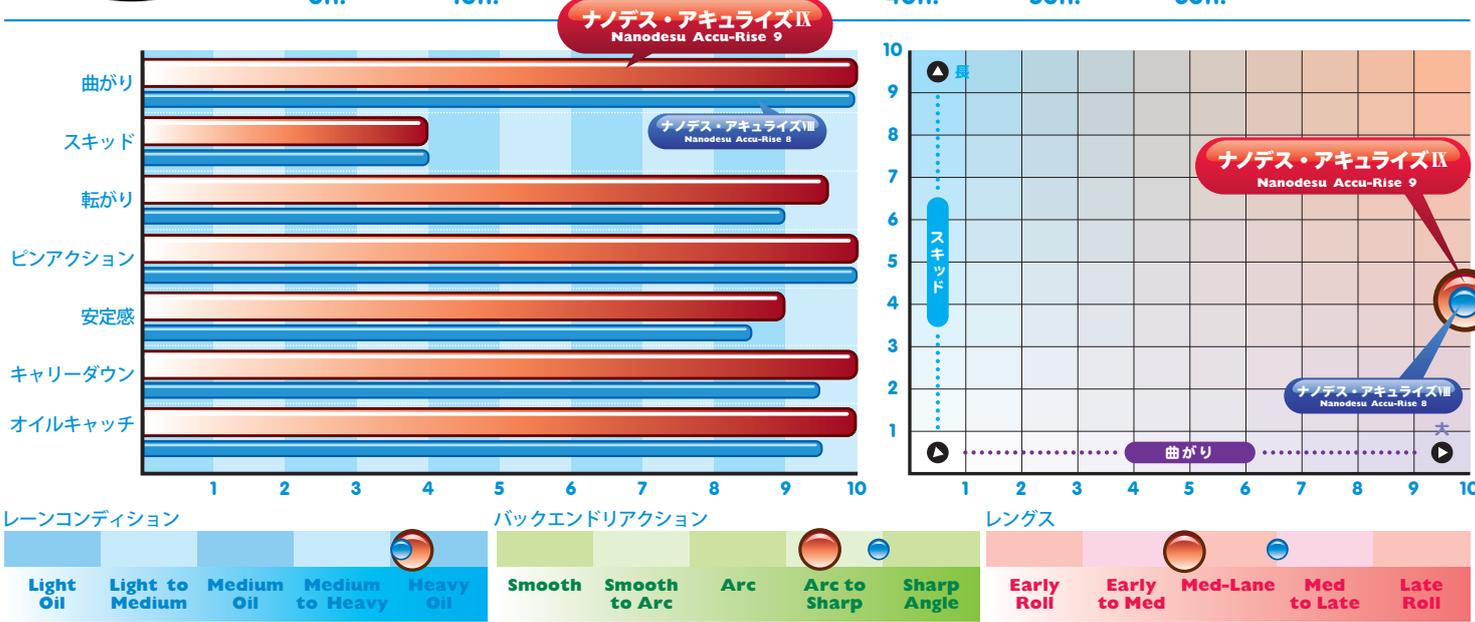
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

確かな品質と期待を裏切らないこだわりの逸品。日本のメーカーが常に納得いくまで作り直しを行い、日本のボウラーに焦点をあてたボール。それこそがこれまで多くのユーザーにナノデスシリーズが受け入れられたことでもあり、ABS開発チームのモットーでもあります。今回のナノデスアキュライズ9は、アキュライズ8のパフォーマンスをベースに曲がり始めの強さを加え、さらに奥のネジレ感を大きく加えるコンセプトで発売されます。

まず初めにアキュライズ8の性能をベースにバージョンアップさせるために、「ネジレの強化」をコアに施し、さらにアキュライズ8のModified VGI Maxコアをの比重変更を行い、慣性を低く保ちマスバイアス数値をさらに大きくしました。そのコアをもとにNano-Thaneカバーとのマッチングを幾度となく行い、表面仕上げまで吟味してアキュライズ9が完成しました。

カバーストックはアキュライズ8のNano-Thane 4.0 Hybridからアキュライズ9はNano-Thane 3.5 Pearlにあえてカバーの数値と添加物の変更を行っています。それはコアとの相性を一番に考え、開発コンセプトをもとに表面仕上げまで行っています。新しいModified VGI MB Max Coreが「一番活きる」組み合わせと言えます。今回改めて思ったのが、本当にコアとカバーストックの組み合わせは重要だということ。単純にカバーストックだけを強くしても強い曲がりにはならないし、コアだけを強くしても繋がらない。一番美味しい領域の抽出がアキュライズ9には出ており、アキュライズ8より力強いネジレ感と心地よいプレーキ感を得られると思います。大きく捻じれると言っても扱いやすく、過激に曲がるというよりは心地よく切れる。もちろんピンキャリアはナノデスシリーズの生命線なので期待大です。プレーキ感と柔らかく切れるイメージは扱いやすさの中に極上のパフォーマンスを感じて頂けると思います。

特記事項 コアの数値変更とカバーストックとのマッチングが素晴らしく、しっかりとプレーキもかかるし、加速感のある柔らかい曲がりを実感できます。